

■■■ KFCの15年～「花束」と「サボテン」の話をもうすこし～ ■■■

2月5日の「KFC15周年記念のつどい」には、たくさんの方にきていただきました。

あらためて心から感謝申し上げます。

阪神・淡路大震災をきっかけに生まれたボランティアグループをルーツにリスタートする形でKFCが設立されたのは、今から15年前になります。

事務所はプレハブでスタッフも専従者は2名、アルバイトが2名しかいない船出でした。現在は、スタッフだけでアルバイトや日本語講師も含めると30名となり、夏に完成するグループホームが動き出すとさらに増え、規模を考えると隔世の感があります。

しかし今もそうですがKFCには、設立当初、設立前から多様な立場の人たちが、「外国人（マイノリティ）」を支援する事業を支えてくれています。

KFCが、今後もっと大きくなり多彩な事業を展開することになっても多様な人たちに支えられともに歩むという本質は変わりません。

しかし、規模がおおきくなり歩みを知らない人が増えれば、逆に外の社会との接点が弱くなるという矛盾が生まれます。

多様な人と共に生きることを深く考え共有し、活動することが、今後よりKFCにとって重要な意味をもつように思えます。

15周年の時、KFCの歩みは少しずつ花束が大きくなるような歩みだったと話をさせていただきました。

KFCは震災ボランティアという小さなコップに思いをよせてくれた人たちが自分で育てた花を一輪ずつ持ちよるようにつくられました。それから今まで毎年のように新しい花を何本も持って来てくれる人、前よりすこし大きくなった花を持って来てくれる人、咲き続けるようにつぼみで参加してくれる若い人、KFCには、多様な環境で各々が大切に育ててきたかけがえのない活きた花が持ちよられているように感じるからです。

KFCの活動は、外国人支援が支柱としてはじめられましたが、地域にくらす日本人高齢者への介護、中国残留邦人帰国者という「日本人」の支援、東北から避難してきた被災者や福島から一時避難してくる人たちへの支援と団体名と違う領域に活動が広がっています。

ただ通底していることは、少数者や弱者に向けられるまなざしが冷ややかな社会のなかで生みだされる砂漠化に対して土が枯れ、緑がなくならないよう水をまき、木を植える姿勢です。

15周年の時に私は、自分のことを「サボテン」のようだと言いましたが、在日コリアンとして日本に生まれた自分が見てきたマイノリティの実態は、差別や偏見が家庭や個人を苦しめ荒野にしていく様でした。そんな環境で最も犠牲になるのは、女性や子ども、高齢者といったマイノリティのなかの弱者です。私は、何も生えないような環境の砂漠化していく少数者の社会に、背を向けずに生きていく中で、傍にいる人も大変なくらいトゲがたくさん出来てしまったように思えます。

言い訳になりますがサボテンは、昼が灼熱でも夜が氷点下でも枯れずに土を守っています。

何の命も生えなくなる土地ではなく、たくさんの花が生える土地になるようサボテンとして果たせることがあるように思っているのご容赦ください。

情報革新が進み、情報発信のスピードが従前では考えられないほど進み、また一斉に広がるようになった今日、いままで長い時間をかけて築かれてきた言葉も、時には変質しています。

先に書いた「多様性」という言葉や「共生」という言葉も誰が何のために使っているのか。発信する主体は何を目的にしているのか。受けとるイメージの良さとは異なる文脈になっているかもしれないことを考えねばならない時代になっています。

サボテン的に見れば、うつくしい言葉や耳ざわりの良い言葉が抽象的な形で語られる時、社会の矛盾

や理不尽な格差に向き合ったことがない者が、真実から遠ざける構造をもって美しい言葉を語る時、私たちは目を開き耳を澄まさなければいけません。

KFCは、これからも作り物の造花ではなく本物の花が集まる場でありたいと思っています。ついでに私も少しトゲが抜け、アロエぐらいにはなれるようがんばります。(KFC理事長 金 宣吉)

## ■■■KFC日本語プロジェクト■■■

### ◆研修会「日本語教育と国語教育の違い」

3月10日(土)にKFC研修会がありました。講師は日本語教師、言語学者として、大阪、神戸、京都でご活躍の江口清子先生でした。先生は、ハンガリー語も習得し、ハンガリー語教育にも携わった経験をお持ちの方でした。研修は、初心者向きとは異なり、日本語支援を何年か経験している人を対象としたやや高度なものでした。配布されたレジメも受講者が聞きながらまとめを記入する形にレイアウトされていて、一味違ったものでした。

先ず、テーマになっている国語教育は文部省が決めた義務教育の一部ですが、私たちが関わっております日本語教育の方は、生徒の年齢もまちまちです。彼らの希望も、日常生活に困らないようになりたい、仕事につくため、進学、就職、資格取得のためなどと、それぞれ違いますので、生徒によって違うべきだということでした。

母語と母国語の違いも改めて考えさせられました。次に日本語文法はどの程度必要かと問題提起。小学校のはじめての教科書が簡単な文章表現で始まっているのに対して、日本語教育のテキストは主語、述語が出てくる文型からはじまっている違いも、考えてみるヒントとして示されました。また、日本語教育には文節が取り上げられてないことも違いの一例として言われました。

続いて日本語教育の問題点として子どもと大人の言語習得能力の差があることを認めること、中級、上級の読解を指導するのにボトムアップとトップダウンの方法を紹介されたり、聞く、読むは受容技能であり、話す、書くは産出技能になるのでこの割合を考えることを言われました。

具体的な方法として心に残ったことは、①初めはインプットして与えることが大切 だけれど、次にアウトプットへ進む。

②生徒の能力を見極めそれより少し高いものを与える。でも与えすぎるとはじかれる。

③興味のあるものを素材に入れる。

④ご自身の受けた英語教育の欠陥から読解力をつけることに熱中しすぎない。

⑤先生が後年、ハンガリー語を学ばれた経験から語学を学ぶ生徒の気持ちがわかるようになったので、何かもう一つ外国語を学ぶのもよい。

などでした。20人余りの受講者で皆それぞれに内容こそ違え参考になるものを得たのではないかと思います。(気賀 倭文字)

私は昨年秋に日本語学習支援ボランティア養成講座を受け、KFCで中国から帰国された方たちの学習のお手伝いをしています。

毎回「すごい！」と感心することは、みなさんが熱心に学習されることです。「皆で声に出して言ってみましょう！」という練習の時には「子どもみたい！」と言いながらも、大きな声で練習されますし、板書は一生懸命書き写されます。一時間半の勉強会が終わるころには、皆さんの熱気でスタッフも上気した顔になります。

それと私が『いいなあ』と思うことがあって、もちろん皆さんは日本語学習のために集まってこられますが、中国語で話せるお友達に会えるというのも楽しみの一つだということです。

「少し静かにして聞いてください！」とスタッフに声をかけられることもあるくらいで楽しそうでも賑やかです。

皆さんが楽しく学習を進めていけるようにサポートしたいと思っています。

(日本語ボランティア 湯浅 幸子)

---

### ■■■KFC外国にルーツを持つ子どもの学習支援■■■

#### ◆就学前の子どもの学習「ながたプレスクール」

1月21日（土）から今年度のプレスクールがスタートしました！

昨年度と同様に、全8回の予定で土曜日に実施しています。4月に小学校への入学をひかえている外国にルーツをもつ子どもが対象で、昨年度は3人の子ども、今年度は現在5人の子どもがプレスクールで学んでいます。

近隣のボランティアのネットワークや小学校などとの連携によって、より多くの方々にプレスクールの取り組みを紹介することができました。

子どもたちの中には、普段は別々の幼稚園や保育園に通っており、プレススクールで初めて友だちになった子どももいます。どの子どもも、回数を重ねるごとに緊張もほぐれ、今では学習後にみんなでカルタ取りをしたり、仲良く本を読んだりしています。

4月から始まる小学校生活へのスムーズな移行ができるように、あいさつや正しい姿勢、鉛筆の持ち方、ひらがな、本読み、計算・・・と体験してもらいたい学習内容がたくさんある中で、指導内容を厳選していくことは簡単ではありません。プリントをファイルにとじるという作業に、予想以上に時間がかかってしまったこともありましたが、そうかと思うと、単語カードはスラスラ読めて、すぐに済んでしまったり・・・。子どもの実状に合わせて、臨機応変に指導内容を変更していかなければいけないという難しさもあります。

外国にルーツをもつ子どものプレススクール事業で先駆的な取り組みをしている愛知県の教材やカリキュラムも参考にしながら、指導者だけでなくKFCスタッフとも事前、事後のミーティングを重ね、指導を工夫しています。

今年度からの新たな取り組みとして、日本語教室を企画しています。プレススクールで学んでいる子どもの保護者を対象として、学校に連絡する方法や、学校で必要な物の名前、連絡帳やお便りの読み方などの勉強会を実施する予定です。子どもの学習面だけでなく、さまざまな形で入学のサポートができるように、これからもスタッフ一同、取り組んでまいります。

みんな、どんな1年生になるのでしょうか？楽しみです。（藪田 直子）

#### ◆年末お楽しみ会

もうすぐお正月といった12月29日、子ども29人、スタッフ・支援者8人の総勢37人で、年末恒例のお楽しみ会を開催しました。

事前に子どもから何を食べたいか、何をしたいかを書いてもらい、その中からする事、食べるものを決めました。

今回の年末お楽しみ会では、はじめに子どもたち全員でクイズ大会をしました。

クイズのタイトルは「世界の国を知ろう！！サンタク☆クイズ！！」。世界の国名の日本語表記や伝統楽器の問題で、子どもたちを4グループに分けグループ対抗戦にしました。クイズが進むにつれてテンションが上がり、優勝グループが決まる絵当てクイズでは最高の盛り上がりとなりました。優勝グループから順番にクリスマスプレゼントを受け取ると、さっそく包み紙をやぶって友だち同士で見せ合いっこをしていました。

盛り上がったクイズ大会が終わると、次は子どもたちが待ちに待ったお菓子作り！！今回はバリエーション豊富にクレープ、ベビーカステラ、おにぎりを作ったことがないから教えてほしいという子どもの声に応えて、おにぎりのメニューにしました。クレープ作りでは、皆思い思いのフルーツを生地にのせ、口いっぱい頬張っていました。ベビーカステラは、子どもたちが大好きなチョコや生クリ

ームをたっぷりのせたこともあり、作っても作ってもすぐになくなってしまふほど大人気でした。おにぎりを作ったことがないから作ってみたい！」という子どもの声に応える形でおにぎり作りもしました。三角形にするのが少し難しかったようですが、最後はのりをまいておいしそうに食べていました。

今回は高校生のお兄さんお姉さんが参加してくれたこともあり、最後まで活気あふれる楽しいクリスマス会となりました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。(赤嶺 祐一)

---

### ■■■ KFC中国帰国者支援事業 ■■■

#### ◆バレンタインデーの帰国者交流会

昨年春にKFC帰国者新長田交流会に参加させていただいてから早や1年近くになりました。参加者の皆さんも増え、お互いなじみになり、活動も大変活発化してきました。心からうれしく思います。さて、2月14日の交流会もスタッフの皆さんが色々工夫され、全員楽しみながら有意義に過ごすことができました。

はじめに恒例の「上を向いて歩こう」の歌を皆で合唱しました。もう歌詞を見なくても皆さん上手に歌われています。

続いてお馴染みになった太極拳運動です。寒い時季なので十分準備体操をして、身体をほぐして温め、引き続き「練巧18式」と「簡化24式太極拳」をしました。月2回程度の練習ですが、1年間皆さん大変熱心に練習してこられ、とても上手になりました。中には皆さんの前でお手本の演武をしてもらえる方も出来ました。春にはいずれかの太極拳グループと交流演武ができればと思います。

太極拳は女性が多いですが、男性は中国将棋に熱心な方々も多く、最初から最後まで、コマとにらめっこで真剣勝負をされている様子が見られます。最後に、特別ゲストの曾根さんの指導で吉幾三作詞作曲の「揚子江」という日本語の歌を習いました。遠い祖国にいるお母さんのことを思う歌ですが、歌詞を聴いていると胸がジーンと熱くなってきます。皆で繰り返し歌っていると、涙ぐみハンカチでそっと目頭を押さえておられる方もありました。いい歌でした。

今日の交流会はバレンタインデーにも当たり、曾根さんからパンケーキ、スタッフのみなさんからチョコレートのプレゼントもあり、皆さん心も体も温かく楽しい交流をすることができたようです。これから春になり、戸外にでも出られたら一層交流活動の幅が広がるでしょう。この交流会がますます充実し、皆さんと共に発展していけることを祈っています。(鶴田 和子)

---

### ■■■ ハナの会 ■■■

#### ◆ハナの会さんに行ったよ！

##### おばあちゃん、おじいちゃんをよろこばせよう

2年生は1月20日に「ハナの会」さんに行かせていただきました。今までのどの練習よりも大きな声で歌いながら踊った「マルマルモリモリ」では、おばあちゃんも楽しい気分になって途中一緒に踊ってくださいました。会の最後にはおばあちゃんたちのチャングの演奏を聴かせていただき、みんな真剣な表情になりました。アリランの歌なども素敵でした。

最後はどのおばあちゃんとも握手でお別れ。「また、ぜひ来てね。」とうれしい言葉をいただきました。「ハナの会」のみなさん、ありがとうございました。(真陽小学校教員)

#### ◆スタッフ紹介

昨年12月20日から勤務させていただくことになりました、岡村康子と言います。

今までは体の不自由な子どもたちの家で訪問介護をしていました。そこでは、身の回りのことや、

お出かけなど、日常的な生活支援をしていました。きっと、ゆっくりしたペースで、仕事をしていたかもしれません。

デイサービスでの勤務は初めてで、毎日たくさんの利用者さん（私にとっては）と長時間、一緒の時間を共有するなど、その人について覚えることもたくさんあり、また最近、利用者の皆さんにも、仲良くして頂けるようになり、新しい仕事についても理解できるようになれたと思います。

まだまだ勉強することがいっぱいですが、頑張っていきたいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。（岡村 康子）

---

### ■■■ 今後の予定 ■■■

#### ■ K F C 研修会

4月14日（土） 13:30～16:00

「日本語ボランティアとは  
～日本語ボランティアと日本語講師の立場から」  
於 KFC事務所 教室スペース

#### ■ K F C 生活日本語完成報告会

4月28日（土） 14:00～16:00

於 ピフレホール

#### ■ 2012年度総会

5月19日（土） 17:30～18:30